

■巻き戻される「高市トレード」

4日に行われた自民党総裁選で高市早苗前経済安全保障相が新総裁に選出されて以降、同氏が主張する積極的な財政出動と金融緩和への期待から、先週の金融市場では円安・株高が進行、「高市トレード」の様相が強まりました(図表①)。

しかし、10日に「政治とカネの問題」への対応が不十分として公明党が連立政権から離脱する方針を表明したことで、今後の政局を巡る不透明感が高まり、週明け14日の株式市場は大幅下落となりました。公明党の連立離脱により次期首相が誰になるか見通しが立たなくなり、総裁選後に期待先行で進んだ高市トレードが巻き戻された模様です。

今後の焦点は、21日に召集が見込まれる臨時国会での首相指名選挙です。足元では立憲民主党・日本維新の会・国民民主党が結束し、国民民主の玉木雄一郎代表を首相に擁立する案が浮上。政権交代の可能性も意識されていますが、安全保障やエネルギー政策等の重要政策で意見が大きく異なっている現状を踏まえると、連携は容易ではないと見られます。

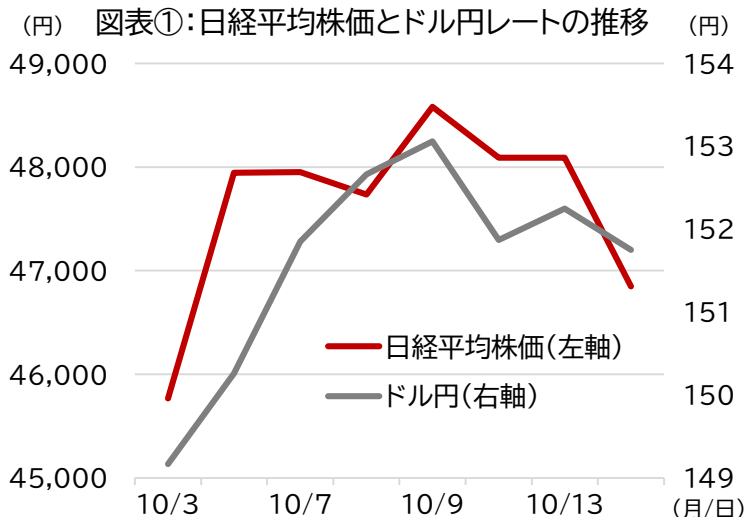
現時点では、比較第一党の自民党の党首である高市氏が首相になる可能性が高いと思われ、市場でもそうした見方が優勢のようです(図表②)。その場合、自民党は連立を組まず、単独少数与党の政権が発足し、野党とは政策ごとに是々非々の連携を模索するものと思われる。日経平均の下値目途は、総裁選前の水準である4万5,000円台が想定されます。

■ゴルディロックス(適温相場)シナリオは継続か

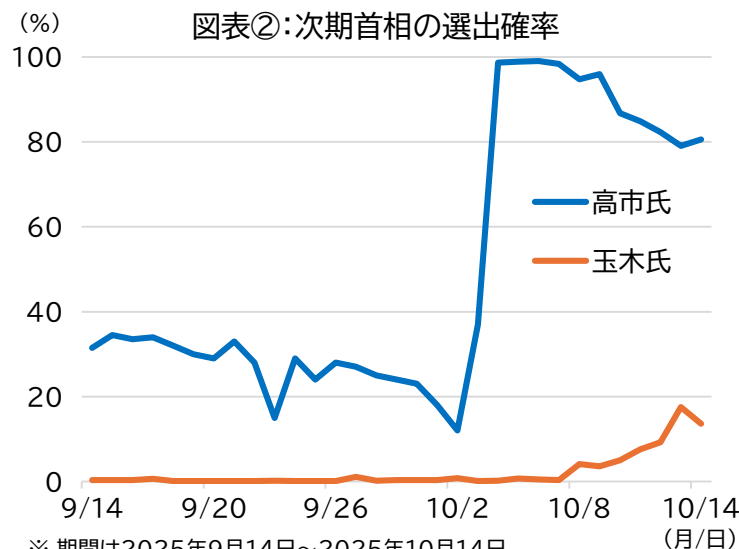
政局の不透明感に加え、足元では米中貿易摩擦が再燃すると懸念が高まっていることも、相場の重しとなっています。

もっとも、今後も緩やかながらも企業業績(EPS、1株当たり利益)の拡大が予想されていることから、日本株の中長期的な上昇基調に変化は無いと思われます(図表③)。

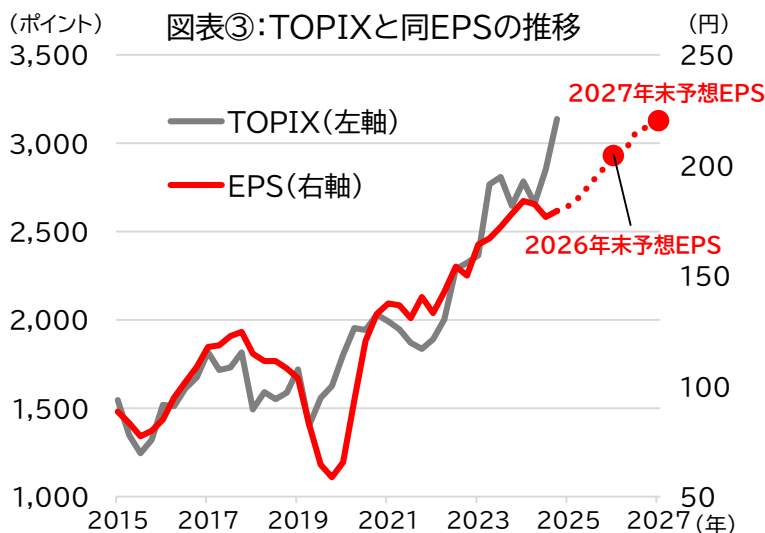
また、米景気の底堅さと、FRB(米連邦準備制度理事会)の利下げ再開を背景としたゴルディロックス相場が継続していることも、相場の一定の支援材料と見られます。



※ 期間は2025年10月3日(総裁選投票日の前営業日)～10月14日
(出所)Bloombergよりいちよしアセットマネジメント作成



※ 期間は2025年9月14日～2025年10月14日
※ 米ポリマーケット(予測市場大手)が織り込む首相選出確率
(出所)Bloombergよりいちよしアセットマネジメント作成



※ 期間は2015年12月末～2025年9月末、予想EPSはBloomberg予想値(2025年10月14日時点)です。
(出所)Bloombergよりいちよしアセットマネジメント作成

◆当資料は投資判断のご参考となる情報提供を目的としていちよしアセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。
投資信託のお申し込みにあたっては、販売会社より投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断下さい。
◆当資料は信頼できると考えられる情報をもとに作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載は過去の実績であり、将来の成果を示唆、保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。